

<受賞者／貝澤 守 氏>

1965年、北海道平取町で生まれ、幼少時代より、木彫職人であった父・守幸氏（1977年没）の彫刻を見て育ちました。守氏が12歳のとき父が亡くなり、高校卒業後は一時期札幌で暮らしていましたが、ふるさとへ戻り21歳から工芸作品を作り続けています。二風谷のイタには、先人の味わい深い技が生き残っていると、その伝承に努めながら、独自の作品づくりに力を注いでいます。



2010年には、国土緑化推進機構のコンクール・森の伝承・文化部門で「森の名手・名人」に全国で80人、北海道でただ一人選ばれたアイヌ伝統工芸作家です。また、今年7月に開業した民族共生象徴空間（ウポポイ）の国立アイヌ民族博物館に二風谷イタを出展しているほか、米国ポートランド市日本庭園や札幌駅西口にモニュメントを出展しています。その他、作品コンクールで多数受賞歴があります。

伝統的工芸品指定当時より二風谷民芸組合（平取町）の代表理事として、技術・技法の伝承や後継者育成、認知度向上に務め、アイヌ伝統的工芸品の振興・発展に大きく貢献しています。

（写真出典：二風谷民芸組合）